

オーテピア開館5周年記念 読書バリアフリー研究会 アンケート回答

日 時 23年9月23日（土・祝） 午前10時00分～午後3時50分

会 場 オーテピア

参加者 73名／アンケート回収45名

1. この講座をどちらでお知りになりましたか。

新聞・広報誌	5	高知新聞 2
DM・ちらし	11	
友人・知人の紹介	2	
ウェブサイト	4	その他 HP2
メーリングリスト	3	高知家 LV ネットワーク 1
公共図書館協会からの案内	11	
館内案内	4	
その他	5	オーテピア 2、職場 2、財団から 1
合計	45	

2. 今回の講座の満足度をお聞かせ下さい。

満足	やや満足	やや不満	不満
37	7	1	0

その理由をお聞かせ下さい。

満足の理由

- ・ユニバーサルデザインの考え方からも、見えない人だけでなく見える人にも「聞く文化」が広まっていけばいいと感じました。自分も、目の疾患により、年々見えにくく読むことをあきらめていることが多いです。耳からの情報、たのしみ方のバリアが少なくなることを願っています。
- ・情報の受けとり方に得手不得手があり、それに合わせた読書の方法が、種々あること、個々の特性に従って、工夫をし、環境の側が変わっていかねばならないことを興味深く聴かせていただきました。
- ・仕事が重度の心身障害のある子どもさんの支援をしていますが、子どもたちへ本を読んでいる時に、この方法でいいのかな？この子に合っているのかな？と思うことが多くありました。今日の先生方のお話を聞いて、子どもたちとの関り方が変わったように思いました。
- ・読書バリアフリーについて、多様な観点から解説いただき大変参考になった。
- ・「読書バリアフリー」という事で、障害のある方向けの読書の方法を扱うのかと思っていましたが、障害の有無に関わらず、自分に合った読書の方法や読書を通して得られるものに気付きました。4つの講義を通したテーマが伝わる良い研究会でした。
- ・実際にタブレット端末を触ったりできて、使用の仕方などよくわかりました。学校・家庭でタブレット端末を活用する読み書きサポートでは、一人一人の障害の違いに向き合ってその子に合った解決法をさぐっていくことが大事だと改めて感じました。
- ・今少しずつりんごの棚を作ったりして、バリアフリーサービスを始めています。今日の会で体験できたことを参考にバリアフリーに力を入れていきたいと思いました。

- ・知らないことが知れて勉強になった。放課後デイサービスで勤務しているので、どんどん取り入れて行きたい。
- ・多様な支援やメディアの形を紹介いただき、大変勉強になった。また、日頃うかがう機会があまりない障害当事者の方にとっての困りごとや欲しい支援の話が聞けてよかった。
- ・紙以外での読書をサポートする道具について、勉強不足を感じました。そういった機器、アプリなど使い方を習う機会がほしいと思いました。
- ・読書のサポート方法は様々であることが改めて分かりました。私自身も、方法を模索しながら、もっと工夫していきたくて強く思いました。
- ・広く深く学びを得ることができました。学校関係者にも聞いてもらいたいと思いました。
- ・「読めない」「読まない」ことに対して様々な解決方法があること、また、進化していく技術・機器をいかに使いこなしていくことが大事かを教えていただいた。
また、「情報の格差」をどううめていくのかも（知っている人は便利、知らない人はとりのこされていく）。
- ・読み書きの度合いに障害、困難がある子どもが多くいるという事。その子どもをサポートする進化した物があって実際に使用している様子などがとてもよくわかりました。
- ・事例をお示しくださりながら、動画などを使って具体的なお話をお聞かせくださいましたので、すぐに活用できそうだと思います。（人と人との“心のバリアフリー”が大切なことだけど、まだまだなかなか難しいですね・・・）
- ・様々な立場の方から、貴重な話を聞くことができました。
- ・見えにくさも個々で差があり、人によって違うので、これだけを対策すれば良いというものではないと知りました。また、読み上げ機能がこれほどのたくさんの人にとって便利なツールになっていると知って、高齢の方でも本を楽しみたいと言う方にも、知ってもらえたらいいなと思いました。色々なことを学べたので良かったです。
- ・「読書する」というだけでもいろいろな障害があることを知り大変勉強になりました。今回の内容については学校、保育園など教育の現場にいる方々にぜひ聞いていただきたいと感じました。身内に耳の障害がある子がいますが、目が見えなくなったらどうするのか・・・とかいろいろ（勝手に）考えてしまいます。
- ・色々な分野からの、バリアフリー図書について知れて学べて良かった。
1時間で講師の先生が交代するのも聞きやすく良かったと思います。
- ・読む、きく、見る、知る、方法として、様々な方法があることを知り勉強になった。
- ・デジタル化がとても進んでいると実感できた。
- ・読書バリアフリーの必要性を強く感じた。もっと拡がって行って、より良い読書環境が整って行ってほしい。
- ・本の読み聞かせの必要性がよくわかった。
- ・端末を使いこなす必要性。
- ・お話しされる先生方のこれから先のバリアフリー共生共存に向けて、未来に光さすお話を聞いた。
- ・弱視児童への読書ツールとして DAISY の活用が学べ、今後活用して行きたいと思います。
- ・学習教材の拡大や見やすさに注力していましたが「読書を楽しむ」ということの大切さを再認識しました。
- ・日頃あまり考えていなかった事や物の話を聞いて、良かったです。これから少し新しい、違った視点で考えることができるような気がします。いい企画でした。
- ・オーディオブックを作っている人、読書サポートを必要とする人を支援しようとする会社、本人も「見えにくい」支援学校の先生、ICTで読み書きサポートをする会社、その他学校図書館の司書の方、読書バリアフリーについての様々な立場の方の話がたくさん

聞けたのは良かった。学校で読み聞かせをしたり、マルチ図書（絵本）を作るボランティアをしている。本を読むことの楽しさをすべての人に（自分も子どもも大人も障害あっても）との思いが伝わる研究会でした。

- ・大変勉強になりました。中でも(株)オトバンクのオーディオブックについて知れたのがよかったです。公立図書館においても導入できないか調べてみたいです。
- ・オーディオブックで、物語の内容がイメージできるような音読の工夫がなされているものができているので「進化している」と思った。ただ、オーディオブックを長時間に渡って聴き続けたり、大音量で聴き続けたりすると、聴力低下につながるのではないかと懸念される。（イヤホン難聴）
- ・読むことについて支援が必要な子どもたちに役立つであろう具体的な方法や技術について、知ることができてよかった。当事者（視覚）の意見もとても貴重で参考になった。
- ・読書に関して様々な視点を学べた。オーディオブックを今回初めて知り、自らの生活に取り込めたらと思いました。子育て真只中で絵本読み聞かせの事もマンガや動画等について村上文さんの講話でなるほどと感ずることができてスッキリすることができました。
- ・重複障害のあるお子さんを預かる仕事上で、どのようなものが利用できるか学び、一人ずつにどう応用していくかが今後の課題となりそうです。時間かけて「個」に合う方法を見つけたい。
- ・読書をすることに様々な視点から講話があり、どの人も読書を楽しむ可能性を見出すことができて、とても学びがありました。読み聞かせなど、今日の学びを生かして指導していきたいです。
- ・「耳など目以外のその他の感覚で読む」ということが一番勉強になりました。目以外でも読むことでいいんだと思いました。
- ・高知県読書バリアフリー計画の策定に取り組んでいる中、伊藤忠記念財団の協力を得て、県内の関係者が集うことができたことに大いに意義を感じています。今後の取組みの弾みとなるようになるのではと思います。
- ・読むことが困難なことを軽減する方法が、多方面から提案されていたため。
- ・現場で、またのご自身のこととして体験され、試行錯誤されての実践のお話が大変参考になりました。また、参加者の方々の質問等からも実情などがわかり、有意義な時間でした。わいわい文庫について先日初めて知る機会があり早速利用させていただくことになりました。
- ・読書という概念について考えなおす機会になりました。私自身が活字好きなので文字限定だったのですが、「何のための読書？」と考えると、情報を得る・自分の語彙を増やす、コミュニケーション力UP、自分の内面世界を豊かにするなど広がりました。これまで気づけなかったことを学ばせていただけたと思っています。ありがとうございました。
- ・教育現場の話が聞けた。
- ・文字から情報を得ることの大切さがよくわかった。
- ・未記入（1）

やや満足の理由

- ・マルチメディア DAISY 図書という言葉は聞いたことがありましたが、詳しいことは知らなかったのが今日参加して勉強になりました。また、今は音声で絵本を読み上げてくれるアプリがあるというのも知らなかったのがダウンロードして使ってみようと思いました。
- ・読み書きが困難な人たちに対して読書の楽しさを伝えるという伊藤忠記念財団の取り組みは素晴らしいと思いますので、今後もぜひ続けていって欲しいと思います。
- ・読書バリアフリーについて、初心者の方にはわかりやすい内容だったと思います。

- ・私は住環境に関心があり、住まいをバリアフリー化する夢をもっています。今回は読書というテーマでのバリアフリーについて学ぶことができました。
- 今、学校現場で読み書きの困り感をもっている子どもや目や耳にさまざまな障害があり、困り感をもっている子どもへの理解や支援についての大きなヒントをいただきました。何か、今回の講演の内容も踏まえ、文科省はじめ学校現場にも浸透していける方法はないかと考えます。是非そのあたりの示唆についても発信してほしいと期待します。
- ・ディスレクシアや知的障害のある人がどうなったらよいだらう。できる事は色々あると感じました。時代は変わっていることに抵抗はありますが、うまく使い分け、人の力を介した支援を大事にしていきたいと思いました。
- ・目が見える人、見えない人等にかかわらず、いろいろな方法で読書を楽しむことができるということがわかり、良かったです。仕事で今日教えていただいたことを、少しでも生かしたいと思います。
- ・読書バリアフリーについての関心はあるものの、詳しい内容や具体的な方法について、勉強不足であったため、今回広い視点で基本から知ることができ大変良かったです。
- ・全く知らない世界のことだったので、知ることができて良かった。

やや不満の理由

- ・講師によっては、話し方、スピードが速く、非常にききづらかった。

3. 今後ご希望される講座内容や講師、その他お気づきの点がございましたらお聞かせ下さい。

- ・発達障害のある子どもの環境（学習・生活）の整え方など。
- ・同時オンライン配信や、アーカイブ配信を行っていただきたい。
- ・リモート登壇のとき、スライドと話者のビデオが重ならないようにしたり、通知（Slackなど）音 off の打合せをされると良いと思います。
- ・遠方のために参加が難しい方々もいたのではないかと思います。後日ネットでの公開等の対応もあると良いと思いました。
- ・高齢者への読書支援についての講座
- ・本研修会では、リアルタイムに作成されている字幕を参考に、皆さんの話をより分かりやすく聞くことができました。どういった方々が協力されているのか？と気になったので、講座開始時に軽く紹介があってもよかったのでは、と感じました。（紹介済みだが、私が聞き逃していたら申し訳ございません。）
- ・今回の講座は、最新の話をお話を色々ときかせていただけて、とても勉強になりました。ぜひ今後とも「今」のお話を聞かせていただきたいと思います。
- ・郷土資料についての保管や情報について、また、特に古い郷土の作家さん等が知識不足でわからない。まとめて研修していただけると助かります。
- ・読書に関することではないですが、共生共存に向けたお話をお願いします。
- ・オーディオブックは、今までの事が分かったし、これからのことに期待が持てる。
- ・「読書って何だろう」基本にかえて考えてみた。良かった。
- ・支援学校の先生のお話ご自身、今の現場のことが直接聞けてとても面白く聞きました。字体の話とかも具体的でした。
- ・知的障害のある人に専門用語などを分かりやすく説明する方法。教育漢字、四則計算、外国語の指導方法。（この研究会で、知的障害のある人が介護福祉士の資格を取った事例を知った）
- ・人間が文字を認識し文章を読むということは、どのように習得するスキルなのか。支援を必要とする子どもだけではなく、一般の人もどのようにして習得していくものなの

- か。脳科学や認知行動学的な側面から最新の成果がわかる講座を受けてみたいです。
- ・ YouTube やアマゾンプライム等の刺激の強いものから先に入る子どもたち。ネットのコピペで内容をちゃんと理解できていないといった話が質問の中でありました。今の時代で、読書に親しむ・文字につなげる方法をより知りたいです。
 - ・ 非常に勉強になりました。オンラインの講演は少し早口だったのでわかりにくいというところはありませんでしたが・・・。
 - ・ 徳島から参加させていただきました。声と点字の図書館の充実したサービスがすばらしいと思いました。
 - ・ マルチメディア DAISY については一度体験したいと思っていましたので、とてもよい機会となりました。ありがとうございました。
 - ・ 当事者の方の声をもっと知りたい。
 - ・ 市内でも視覚障害、識字能力がない方でサービス利用につなげていない方が多くいらっしゃいます。アウトリーチ、情報接触率 UP のために成功した例など知りたいです。
 - ・ ありがとうございました。
 - ・ ユニバーサルデザインという観点からも本日のお話は、学ぶことが多かったです。読み書き障害や ADHD の子どもたちにも活用でき、しかもおもしろさ、楽しさを感じられることは一番の幸せと思います。今後もユニバーサル、バリアフリーという観点や視点での講演をお願いしたいです。ありがとうございました。
 - ・ 今日のテーマを若い先生方の研修（年次研修等、保育所研修等）の中にも組み入れていくことにもお考えいただければ有り難いです。
 - ・ さまざまな障害（発達課題）のある人の子ども～大人になるまでの支援と実際の成長結果事例がきけるとよいです。（知的障害やディスレクシアの児童が、どこまで成長できるのかが見えず、今抱えているよくない面ばかり目がいってしまうので、支援者として成長の喜びが得られるようにしていきたいから）
 - ・ 未記入（27）